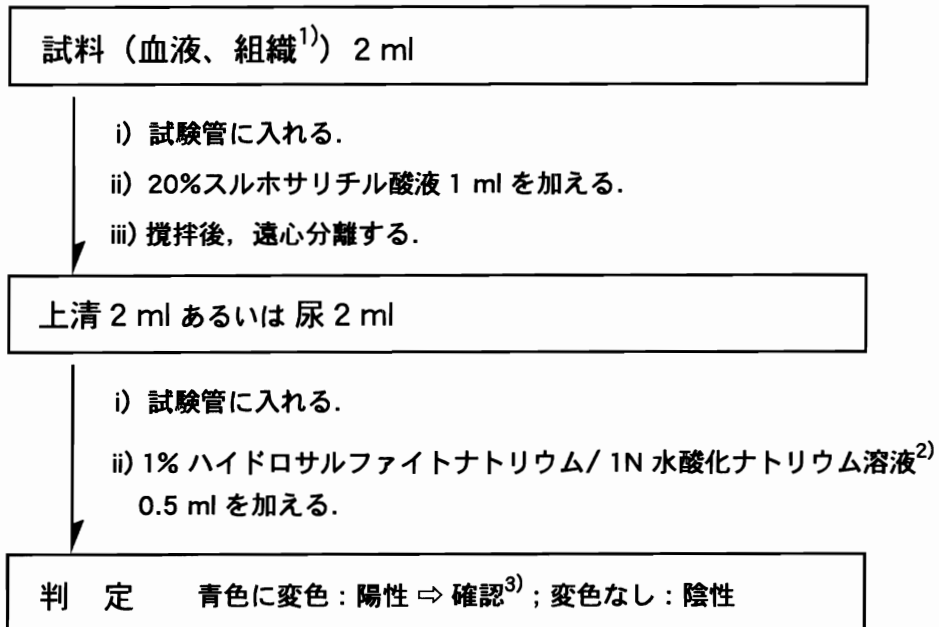


2. 個別薬毒物

A. パラコート

i) 操作法



【注解】

- 1) 組織は 4 倍量の純水を加えてホモジナイズし、遠心分離後、その上清 2 ml を試料とする。
- 2) この溶液は用時調製し、調製後 2 時間以内に使用する。
- 3) 吸収極大波長が 600 nm であることを確認する。